卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修		-	選択
授業科目名: 教職教養演習 I]	単位数:1単位 (半期)演習		数員名: 厚志、山畑昭司
ナンバリング:2701				担当	形態:複数

授業の到達目標及びテーマ

- 1.公務員試験の流れや、勉強の方法、各自が受ける地域の試験内容について理解できる。
- 2. 公務員試験「一般教養」の各領域における内容と各自の力を確認し、苦手領域を克服できる。
- 3. 面接試験のポイントを把握し、模擬面接を通して回答力を身につけることができる。

授業の概要

公立の保育所や幼稚園、認定こども園の保育士や幼稚園教諭に就職するには、各自治体が実施する職員採用試験に合格をしなければならない。試験内容は一般教養試験、専門教養試験、論作文、面接等である。本講義では、公立の保育士・幼稚園教諭を目指す学生を対象に、公務員試験受験の基礎知識・学習方法・一般教養の身につけ方、論文作成・面接の受け方を学ぶ。

授業計画

第1回:公務員試験について、学習計画立案

第2回:一般教養(文章理解・国語・文学)

第3回:一般教養(資料解釈)

第4回:一般教養(思想・日本史・世界史)

第5回:一般教養(地理·芸術)

第6回:一般教養(政治・経済)

第7回:一般教養(社会)

第8回:一般教養(数学)

第9回:一般教養(物理·化学)

第10回:一般教養(生物・地学)

第11回:中間テスト・振り返りと今後の学習計画

第12回:一般教養(判断推理)

第13回:一般教養(数的理解)

第14回:小論文対策

第15回:面接対策 定期試験:筆記、レポート

授業時間外の学習

・振り返りの小テストを行う ので、復習を行いテスト範 囲を勉強しておく。

(毎回 0.5 時間程度)

・高校時代の教科書、参考書を用いて、自学する。(各分野2時間程度)

・授業前に、テキスト中の授業予定分野の問題に必ず目を通して授業に臨む。 (毎回0.5時間程度)

授業の方法

講義と主体的な「学び合い」を適宜織り交ぜて行う。パソコン教室で市町村採用試験概要の調べ学習を行ったり、グループワークを行ったりもする。毎回小テストを行いフィードバックする。

テキスト 『保育士・幼稚園教諭採用試験問題集 2023年度版』保育士試験研究会 実務教育出版

参考書·参考資料等

『スイスイわかる保育士試験』保育士採用試験情報研究会 一ツ橋書店 『市役所上・中級 教養・専門試験 過去問500 2023年度(公務員試験 合格の500シリーズ9)』 資格試験研究会 実務教育出版

学生に対する評価 小テスト (20%) 、提出物・発表 (20%) 、試験 (60%)

履修上の注意

- ・公務員試験希望者、群馬県私立幼稚園・認定こども園の統一試験を受験予定の学生を対象とする。
- ・チューターズルーム・図書館を利用して積極的に予習・復習をすること。
- ・積極的に勉強する意欲のある学生の受講を望む。

実務経験の有無 有 実務経験 元公立学校教員採用試験委員

実務経験を活かした教育内容

元教員採用試験委員の経験を活かして、問題の解説・面接指導を行い、公務員試験受験希望者の実力を養成する。

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修		選択
授業科目名: 教職教養演習II		単位数:1単位(半期)演習		教員名: 厚志、山畑昭司
ナンバリング: 2702		(1777) [2]		形態:複数

授業の到達目標及びテーマ

- 1. 幼児教育者として専門的知識を身につけ、専門教養の問題を解く力を身につけることができる。
- 2. 論文・作文のテーマを理解し、論理的に記述することができる。
- 3. 個人面接や集団面接、集団討論で、対応力を身につけることができる。

授業の概要

本講義では、公立の保育士・幼稚園教諭を目指す学生を対象に専門教養科目の講義を行い、公務員 試験における専門教養を身につけるとともに、小論文・作文の実践をとおして書き方を理解し、併せ て個人面接や集団面接及び集団討論も行い、対応力を身につける。

授業計画 授業時間外の学習

第1回 : オリエンテーション・社会福祉関係の法律

第2回 : 専門科目①法律

第3回: 專門科目②保育原理第4回: 專門科目③保育原理

第5回 : 専門科目④子ども家庭福祉 第6回 : 模擬試験・⑤子ども家庭福祉

第7回 : 専門科目⑥保育内容 保育所·幼稚園

第8回 : 専門科目で保育の心理学

第9回:専門科目⑧子どもの保健

第10回: 專門科目⑨特別支援教育

第11回: 專門科目⑩保育内容 音楽

第12回:論作文

第13回:面接対策①

第14回:面接対策③

第15回:まとめ

定期試験:筆記、レポート

1文表/寸町/12/子白

・作文または小論文を授業以外 に1本書く。(授業実施週各 1時間程度)

・授業時に取り組むテキスト中 の問題以外の問題を、各自で 解く。

(毎時 0.5 時間程度)

・過去の専門教養問題を、

教科書を参考にして解く。(毎

時 0.5 時間程度)

チューターズルームを積極的

に活用する。

授業の方法 講義と主体的な「学び合い」を適宜織り交ぜて行う。パソコン教室で調べ学習を行う。 論文作成の柱立てを学び、実際に書き込む。模擬面接を行い、相互評価を行う。毎回小テストを行いフィード バックする。

テキスト 『保育士・幼稚園教諭採用試験問題集 2023年度版』保育士試験研究会 実務教育出版

参考書・参考資料等

『スイスイわかる保育士試験』保育士採用試験情報研究会 一ツ橋書店

『市役所上・中級 教養・専門試験 過去問500 2023年度(公務員試験 合格の500シリーズ9)』 資格試験研究会 実務教育出版

学生に対する評価

小テスト (20%) 、提出物・発表 (20%) 、試験 (60%)

履修上の注意

- · 公務員試験希望者
- 教職教養演習 I を未履修者も履修可

実務経験の有無有実務経験元公立学校教員採用試験委員

実務経験を活かした教育内容

元教員採用試験委員の経験を活かして、問題の解説・論作文・面接指導を行い、公務員試験受験希望者の実力を養成する。